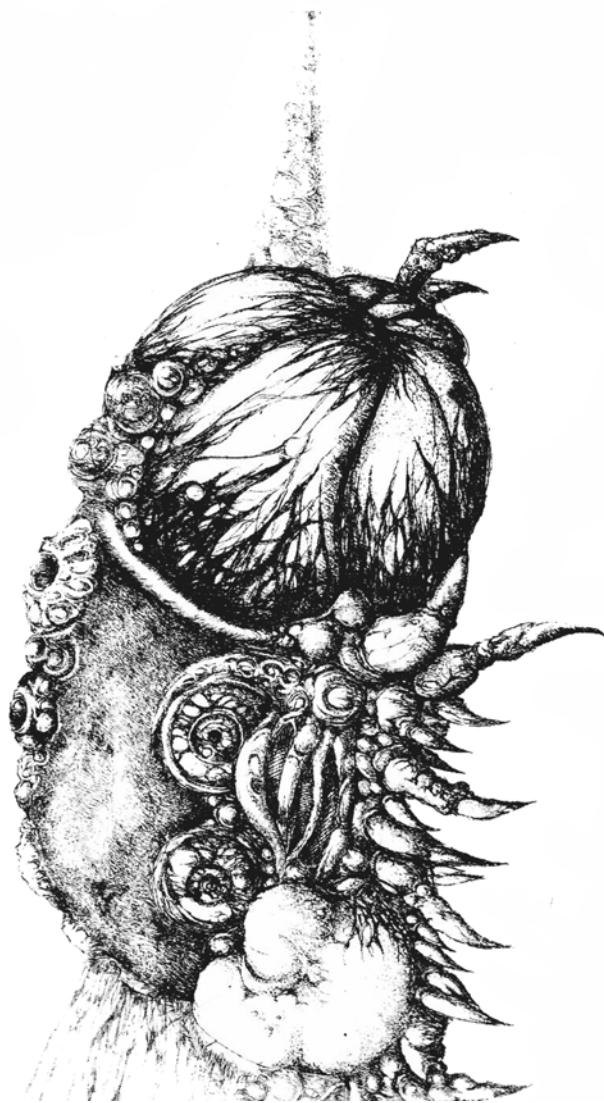


Nishimura Sayuri Sutoh Mitsukazu

copper plate print EXIBITION

2011 8/18(Thu)-10/4(Tue)

place : masimo keiji memorial museum of art



Sutoh Mitsukazu [Scarab force] 75×90



Nishimura Sayuri 「蜃氣樓」 1800×600

学習室 ギャラリートーク&ワークショップ°

9月25日(日) PM 1時より

常設展示室 最上川の四季 II

7月29日(金) – 10月11日(火)



山形県 真下慶治記念美術館
村山市 masimo keiji memoriaru museum of art

〒995-0084 山形県村山市大字大淀1084-1

TEL 0237-52-3195 FAX 0237-55-2152 E-mail massimo@city.murayama.lg.jp 「真下慶治公式ホームページ」

開館時間/午前9時－午後5時 休館日/水曜日(祝日の場合翌日) 入館料/大人300円 小・中学生150円 団体は15名以上 大人250円 小・中学生100円

西村沙由里 須藤光和 銅版画展



Sutoh Mitsukazu 「Kaerunojin」
220×130



Nishimura Sayuri 「御靈くだり」
1800×600



Sutoh Mitsukazu 「Aries」
180×80



Nishimura Sayuri 「夜番」
180×140



Nishimura Sayuri 「霊びとグロ」 950×1360

2011

8月18日(木)-10月4日(火)

展示コンセプト

私達は東北芸術工科大学で銅版画を専門に学び、エッチングという銅板上に細かい線や点で描画する技術を主として制作している。幼少より龍の姿かたちに魅了され、その理想形を追求しあまたの龍を生み出す西村沙由里と、装飾性を重視し己の中に存在する世界の生命の濁流から紡ぎ出される文様を可視化しようとする須藤光和は、銅版画を自身の表現において最適な手段と捉え、エッチングで描き込むという孤独な作業の中で己の精神と向き合い、それぞれのモチーフの造形性を追及する事で自らの生命の形を見出そうとしている。この度の展示では私達の探求の歩みを見ていただき、銅版画の魅力を感じていただければ幸いである。

経歴

西村 沙由里 Nishimura Sayuri

1988 北海道札幌市生まれ
2011 東北芸術工科大学洋画コース版画専攻卒業
同大学院在学

2009 art data bank選抜展（銀座・新井画廊）
2010 めくるめく東北の鼓動（東京台東区・COEXIST）
2011 attacca 版画三人展（東京・ギャラリーオカベ）
西村沙由里展（東京・ギャラリー志門）
第35回全国大学版画展 収蔵賞
(2年連続/町田市立国際版画美術館)
東北芸術工科大学卒業制作展 優秀賞

須藤 光和 Sutoh Mitsukazu

1984 山形県山形市生まれ
2009 東北芸術工科大学大学院 版画専攻卒業

2004 道新ギャラリー版画大賞展 入選
2007 第76回日本版画協会展 B部門入選
2008 第4回山本鼎版画大賞展 入選
第33回全国大学版画展 収蔵賞
(町田市立国際版画美術館)
2009 第77回日本版画協会展 A部門入選



アクセス
○ JRや村山駅からタクシー 10分
○ 東根ICから車で15分